



ツール・ド・九州をアピールする首長ら＝
28日、山口県下関市の下関グランドホテル



国際自転車競技連合が公認する自転車ロードレース「ツール・ド・九州2026」の詳細なコースが28日、公表された。大分県内は10月1日に豊後大野市役所をスタート。原尻の滝(同市)や久住高原(竹田市)など観光名所を通過し、熊本県側へ走り抜ける。九州地域戦略会議が発表した。「大分・熊本ステージ」はフイニッシュの熊本県南阿蘇村役場まで約130キロ

原尻の滝や久住高原通過

10月のツール・ド・九州 大分・熊本ステージの詳細発表

變つ。

大分県内は、豊後大野市清川町の道の駅きよかわ付近に「スマートフォン」を設け、選手たちが全力疾走する白熱した競り合いが見られそう。原尻の滝では、滝の上を渡る道をコースに含めた。

竹田市では城下町を通り抜けた後、久住高原に向かう上り坂へ。佐藤樹一郎知事は「高原の真ただ中を走り、雄大な自然を感じられる」とアピールした。

大会は10月9～12日の日程。9日は長崎県佐世保市でエキシビジョン、10日は「佐賀・福岡ステージ」、12日は「宮崎日南ステージ」でレースがある。

(山口真由)



大分県によると、昨年の大会で県内は佐伯市内を通るコースで実施され、約2万8500人の観客が訪れた。県内の経済効果は約8億4千万円だった。



〔問①〕記事の中から答えを見つけて（ ）の中に書きましょう。

（ ）月に開催される「ツール・ド・九州2026」は（ ）に乗り、九州のさまざまな場所を走り抜けるレースです。このうち、11日の「（ ）ステージ」の距離は約（ ）キロメートルあります。昨年度のレースでは、大分県の（ ）市内がルートとなり、県内の経済効果は（ ）円でした。

〔問②〕記事の文章や地図を参考に、レースの際に選手たちが通る順番として正しいものを選んでください。

- ア 南阿蘇村役場⇒竹田市の城下町⇒久住高原⇒豊後大野市役所⇒原尻の滝
- イ 竹田市の城下町⇒久住高原⇒豊後大野市役所⇒原尻の滝⇒南阿蘇村役場
- ウ 豊後大野市役所⇒原尻の滝⇒竹田市の城下町⇒久住高原⇒南阿蘇村役場
- エ 豊後大野市役所⇒原尻の滝⇒南阿蘇村役場⇒竹田市の城下町⇒久住高原

〔問③〕記事によると、昨年の大会では大分県内に約2万8500人の観客が訪れ、大きな経済効果が生まれました。このように、大分県内で国際的なスポーツ大会を開催することには、どのような良さ（メリット）があると考えられますか。あなたの考えを書いてください。